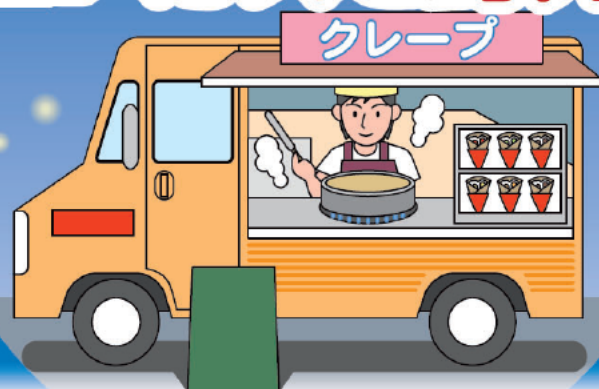


LPガスを野外で使用する皆様へ



LPガスは、ポータブルで、持ち運びに優れたエネルギーです
キャンプ、イベントで活躍するほか、もしもの災害時にも利用されています
LPガスの使用方法をあらかじめ確認してから、使うようにしましょう

…… 最初に確認しましょう ……

LPガスが入ったボンベ（容器）や接続される器具は、
あらかじめ購入するLPガス販売店と、相談の上、適切なものを選びましょう



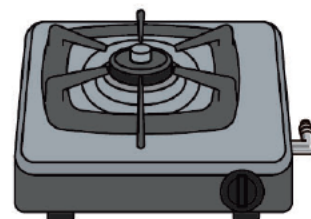
容器



調整器



ゴムホース



燃焼器（ガスコンロ等）

- 容器の交換等を、自ら行う場合には、あらかじめLPガス販売店に注意点をよく確認しましょう。
- 購入時に、LPガス販売店から緊急時の連絡先等が記載された書面が交付されます。大切に保管しておきましょう。

LPガス購入後の注意点

- 購入時や一定期間毎にLPガス販売店による調査が法令上義務付けられています。ご協力をお願いします。
- LPガス容器を保管する際は、高温多湿を避け、通風の良い日光の当たらない場所で保管してください。

過去には容器を長期間、環境の悪い場所に置いておいたことで
ガス漏れの事故が発生しています。



経済産業省

Ministry of Economy, Trade and Industry

関連動画は
こちら▼



LPガス機器についての異常を感じたら
こちらへ連絡を 電話番号等をご記入ください。

● LPガス販売店

● 緊急時連絡先

LPガスを運搬するときのチェックポイント

容器(ボンベ)の積み方

- 容器は、立てて運搬しましょう。横向きで運搬すると、LPガスが漏れる場合があります。
- 自動車などで容器を運搬するときは、容器を安定させるため、ゴム製マットなどを敷きましょう。
- 容器と車両との間に布製マット等を挟む等の対策をしましょう。
- ロープなどでしっかりと車両と容器を固定しましょう。



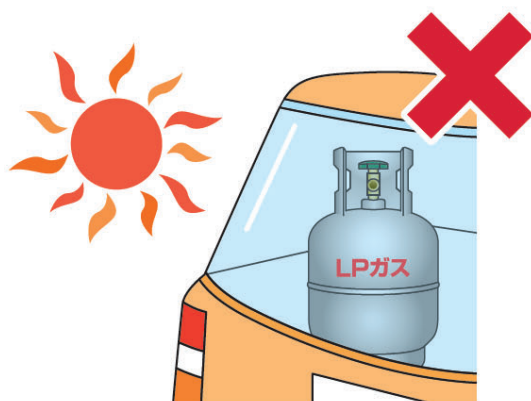
ゴム製マット



ロープによる固定

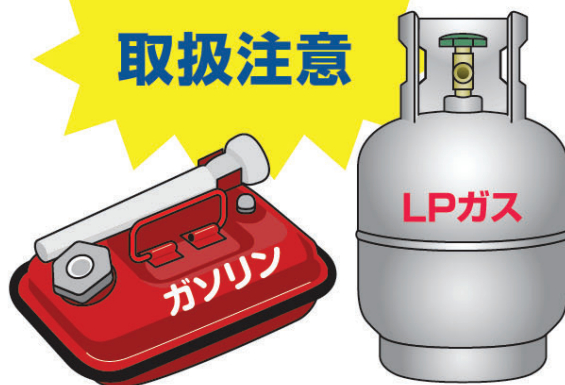
運搬時の注意点

- 目的地に到着したら可能な限り速やかに車両から降ろして、日陰などの涼しい場所で保管しましょう。特に、気温が高い夏季などは、車内に容器を放置しないようにしてください。
- LPガス容器を複数同時に運搬する場合は、購入するLPガス販売店に運搬方法についてご相談ください。
- LPガス容器とガソリンや灯油などを同時に運搬する場合は取扱いに注意しましょう。運搬する場合は、LPガス販売店にご相談ください。



直射日光の当たる車内等

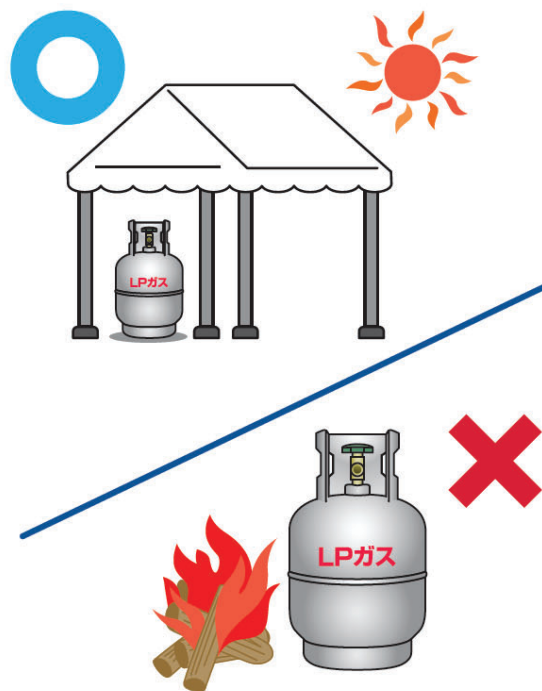
取扱注意



LPガスを使用する前のチェックポイント

容器(ボンベ)の設置

- 使用するLPガス容器は、水平な場所、水平な台の上に置きましょう。また、周囲に水気のないことを確認しましょう。
- LPガス容器は、直射日光が当たらないようにしましょう。また、火気や高温のものから離して置きましょう。
- LPガス容器の上に物が落ちてこないか、確認しましょう。



調整器、ゴムホースの設置



容器



調整器

- 使用する調整器は、LPガス販売店に取り付けてもらいましょう。もし、自分で接続する場合は、調整器の「おねじ」を容器バルブの「めねじ」に反時計回りに回して、接続します。

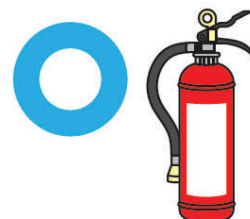
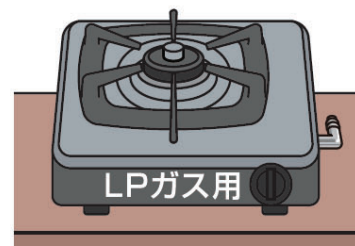
- ゴムホースに割れやヒビ、焦げ等の損傷がないか、よく確認してください。

- ゴムホースは、調整器やガス栓の赤線がみえなくなるまで差し込み、ホースバンドで固定します。差し込みが不十分ですと、ガス漏れやホースが抜けるおそれがあります。



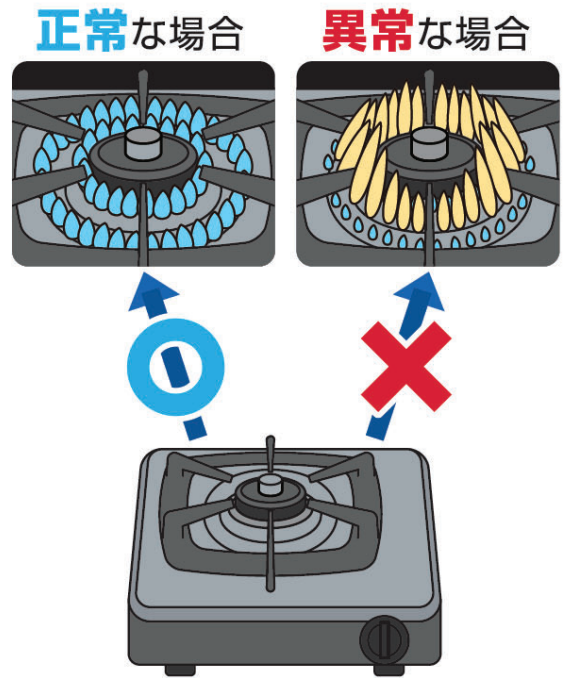
燃焼器の設置

- 燃焼器はLPガス用の製品を使用しましょう。
(「13A」、「13A/12A」と表記のある機器は都市ガス用です。)
- 燃焼器を設置する際は、水平な机の上など、安定しているところに置きましょう。
- LPガス容器や可燃物と離してください。
万一に備え、消火器を準備しましょう。



LPガスを使用するときのチェックポイント

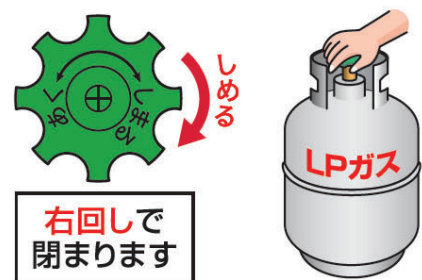
- 燃焼器の器具栓が閉まっていることを確認してから容器バルブを開けます。その際、最初はゆっくり開け、全開にしてから半回転戻すようにします。
- ガス栓が付いている場合はガス栓を開け、燃焼器に点火します。なお、設置後初めて使用する時は、ホース内に空気があるので着火まで少し時間がかかります。
- 着火後、正常に燃焼しているかを確認してください。場合によっては、内部の空気で立ち消える場合があります。
- もし、容器交換を行う時は、他の燃焼器の火なども一度消して、火気のない状態で行ってください。



燃焼時の正常な炎の色は青色です。赤色になっている場合は正常な燃焼状態ではありません。LPガス販売店などにお問合せください。

LPガスを使用した後のチェックポイント

- 使用後は、燃焼器の火を消した後、必ず容器バルブを時計回り(右回り)に閉めてください。
(容器バルブには開閉の方向が明記されています)
- 片付ける前に、容器からガスが漏れていないか、確認しましょう。
過去には容器の交換時のガス栓締付ミスや取り付けミスで事故がおこっています。十分ご注意ください。
- 片付けの際、ゴムホースの中にはまだLPガスが残っていますので、周囲に火の気のない安全な場所で外してください。



ガスの使用後や使っていない容器はバルブが完全に閉まっているか必ず確認してください。

